

ワークシート・資料編

I ワークシート例

- 1 大航海時代以降、ヨーロッパ諸国の世界進出が東南アジアやアフリカに与えた影響にはどのようなものがあるか、まとめよう。

生徒解答例

- ・ 交易により、プランテーションが発達した
→ 綿花やサトウキビなどの栽培=原料供給地であり、市場であった、モノカルチャー経済
- ・ 交易により、三角貿易を通してグローバル化した
〔高等学校 歴史総合〕第一学習社、2022年参照

- 2 次の2つの写真から読み取れる、植民地支配の影響を指摘しよう

【写真】

マリの市場でフランスパンを売っている光景

『高等学校 新地理総合』p. 110

(帝国書院、2022年)

(マリ)

【写真】

ベトナムの市場でフランスパンを売っている光景

『新詳地理資料 COMPLETE 2022』p. 239

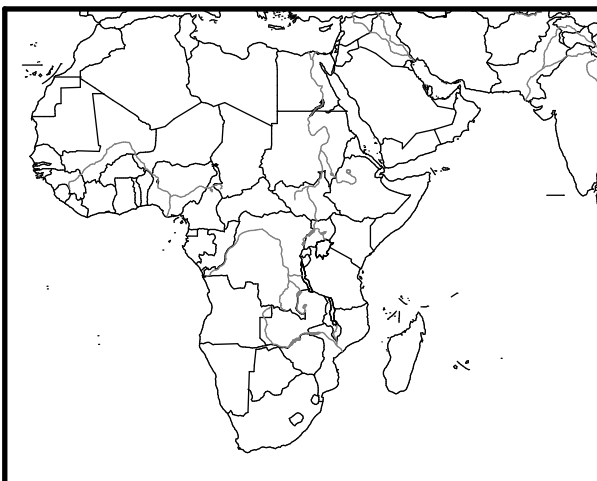
(帝国書院、2022年)

(ベトナム)

生徒解答例

- ・ フランスパンを売っている→フランスの植民地で、食文化に影響がみられる

【植民地支配の歴史】



- ・ マリ王国 ニジェール川上流域
(1 金) の産地
サハラ砂漠を陸路で横断するムスリム商人
→ 西アジアにイスラームを広める
- ・ アフリカ東部
(2 季節風) を利用したインド洋交易
モンバサ (ケニア) など
(3 スワヒリ) 語が広がる
- ・ 15世紀 ヨーロッパとの交易
(大西洋三角貿易)
(4 奴隷) 貿易
セネガル～アンゴラ→南北アメリカ・カリブ海
19世紀前半に廃止→後半までに植民地化
戦後に独立 (5 1960) 年 アフリカの年

3 教科書の図から、公用語の分布の特徴をまとめよう。

【図】

アフリカ諸国の主な使用言語
『高等学校 新地理総合』 p. 110
(帝国書院, 2022 年)

生徒解答例

- ・サハラ以北はアラビア語＝ムスリムが多いため
- ・サハラ以南は旧宗主国の言語である英語やフランス語など
- ・スワヒリ語がケニアで使用されている

(サハラ以南アフリカの多くの国が公用語に宗主国の言語を使用しているのはなぜだろうか。)

生徒解答例

- ・多民族国家のため、特定の民族の言語を公用語にすると紛争の元となるから
- ・現代も宗主国とは結びつきが強いから

4 教科書の図から、国境の種類の特徴をまとめよう。

【図】

1914 年のアフリカの植民地と現在の
国境
『高等学校 新地理総合』 p. 111
(帝国書院, 2022 年)

生徒解答例

自然的国境

コンゴ川, ウバンギ川, オレンジ川, セネガル川,
ヴィクトリア湖, タンガニーカ湖 など

人為的国境

- ・東経 25 度 リビア・エジプト
- ・北緯 22 度 エジプト・スーダン
- ・サハラ砂漠周辺
- ・ケニア・タンザニア間 など

→ (ということは、どのような現象がみられるのか?)

生徒解答例

アフリカは、民族分布に応じて国境が引かれたのではない。

一つの民族が 2 つの国に分かれたり、多民族国家が形成されたりした。

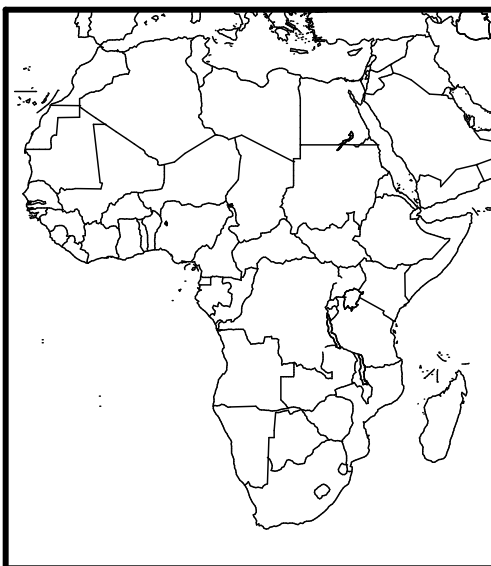
【1914 年のアフリカ】

独立国は 3 カ国

- ・(1 エチオピア) 宗教は (2 エチオピア教会)
- ・(3 リベリア) 1847 年独立
- ・(4 南アフリカ) 戦後に人種隔離政策 (5 アパルトヘイト) ←1991 年廃止

5 農業や鉱業に注目し、一次産品の輸出が多い国 (=モノカルチャー) 経済をあげよう。

(一次産品)	東南アジア	サハラ以南アフリカ 生徒解答例
農作物 ・商品作物の生産 = (プランテーション)	なし	コートジボワール カカオ ケニア 茶・野菜と果実・切り花 エチオピア コーヒー
エネルギー・鉱産資源	ブルネイ 天然ガス・原油	ボツワナ ダイヤモンド (91%) ザンビア 銅 (72%) ナイジェリア 原油 (82%) アンゴラ 原油 (87%) マリ 金 (66%) など



【商品作物・一次産品の産地】

- プランテーション
 - ・カカオ コートジボワール・ガーナ
 - ・茶 ケニア
 - ・コーヒー エチオピア
 - ・切り花 ケニア← (1 高山) 気候を生かして
- 鉱産資源・エネルギー
 - ・原油 ナイジェリア・アンゴラ・ガボン
 - ・レアメタル 南アフリカ
 - ・銅 ザンビア・コンゴ民主の (2 カッパーベルト)
 - ・ダイヤモンド ボツワナ・アンゴラ・コンゴ民主など
 - ・金 マリ・ガーナ・南アフリカ

→ (モノカルチャー経済の何が問題か?)

生徒解答例

- ・不作や国際価格が下がると収入減につながり、経済が不安定になりやすい。

6 東南アジアとサハラ以南アフリカについて、それぞれ工業化が進んでいる国を挙げ、工業化が進んだ理由を考察しよう。

東南アジア… (例: シンガポール)
理由: 1970年代~ アジアNIEs 輸出加工区を設定し、外国資本の導入を進めた 現在は ICT 産業や金融業への優遇政策にも力を入れている。
サハラ以南アフリカ… (南アフリカ共和国)
理由: 予想される解答例 アパルトヘイト後、豊富な資源を生かした工業化 2000年代以降、BRICS, 白人と黒人の教育・経済格差は大きい (『新詳地理資料 COMPLETE 2022』帝国書院, 2022年, p.252 参照)

7 アフリカの現状と課題について、教科書の記述を簡単にまとめよう。生徒解答例

<p>【生活を変えた携帯電話の普及】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の普及←大規模な設備基盤が不必要 ・金融や医療等の生活の変化, ・家族に簡単に送金できる ・感染症が発生した際も、病気への対処・情報が携帯電話で伝えられる 	<p>【都市への人口集中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サハラ以南アフリカの人口は10億を超える ・大規模なオフィスや近代的な商業施設、住宅や電気、上下水道などのインフラの整備が追いついていない → スラムを形成 ・スラムの人は十分な収入を得られる仕事に就けず、貧しい生活を送っている
---	--

8 それぞれの地域における経済成長に向けた取り組みをまとめよう。

<p>東南アジア ASEAN 内で (1 国際分業) 化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進国の企業誘致… (2 輸出加工区) の設定, 安い (3 人件) 費 → (4 タイ) では自動車産業, (5 マレーシア) では電気・電子産業が発達 ・(4・5) の人件費上昇により, (6 ベトナム) やミャンマー, カンボジアへ企業が進出
<p>アフリカ 生徒解答例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 産業を要と位置付け, 光ファイバー網の整備→ソフトウェア開発 (ルワンダ) ・観光産業など新たな産業の振興 ・経済の多角化を進める ・旧宗主国など外国からの援助 ・中国の対外政策に基づくインフラ整備 ・課題は, 識字率の低さ, インフラの不備, 電力の安定供給ができない など

【提案】

【理由】

生徒解答例 (A 評価としたもの)

【提案1】 教育に力を入れる

【理由】 東南アジアが発達した理由の一つに安い人件費があり, ルワンダは ICT 産業で発展した。したがって, まずは安い人件費でよい技術を提供できるように教育に力を入れるべき。

【提案2】 サハラ以南で新たな組織を作り, 国際分業をして, 経済成長をする

【理由】 鉱産資源が採れる国や機械を作れる国などが組織を作ると貿易が活発になる。そこで得たお金を資本として, インフラ整備や観光産業を発展させれば国力を高められるから。

【まとめ・振り返り】

II 参考文献

- ・教科書『高等学校 新地理総合』（帝国書院）
- ・教科書『高等学校 歴史総合』（第一学習社）
- ・地図帳『新詳高等地図』（帝国書院）
- ・副教材『新詳地理資料 COMPLETE 2022』（帝国書院）